

57劇場

ちっちなちっちな物語



のむらゆき

目次

ふと思い浮かんだ、たわいない物語を
575で書きました。短い物語です。

57劇場

ちっちゃなちっちゃな物語



無題.png



辛いのは
私ばかりと
愚痴ひとつ

ちいさな私に
神様が

休息ひとつ
くれました

8.jpg



この美貌
捨てた男の
敵あまた
致死量超えた
視線をかわす

5.png



アパートの
小さな窓に
星が降る

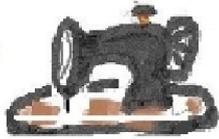
きらきらと
語る貴男の
絵空事

愛した貴男の
絵空事

11.jpg



画像 2.jpg



駅の外れの洋品店

小さな窓の洋品店

5つの私 その窓に

顔をくっつけ覗いてた

キラキラ光る小物たち

ピンクのリボンにお洋服

幼いマナコは釘付けに

カタカタ音があちらから

古いミシンがありました

ほっそり美人の姉さんが

長い指をあやつって

空色ワンピース縫っていた

ここで記憶は突然止まる

ぼんやりぼやぼや霧の中

picture \



17.png



16.jpg



カタカタカタと 下駄の音
かあちゃんと お手々つないで お風呂行く
お空は真っ暗 暗闇で 町の看板 光ってる
いつも行く 小間物屋さん 看板が
おいでおいでを しています
「ハイカラやなあ〜」



突然かあちゃん眩いた
資生堂 と書かれた 看板美しい
綺麗な女が横顔で ツンと澄ました横顔で
「あなたには無縁の世界」
言い放つ

sc0001.jpg



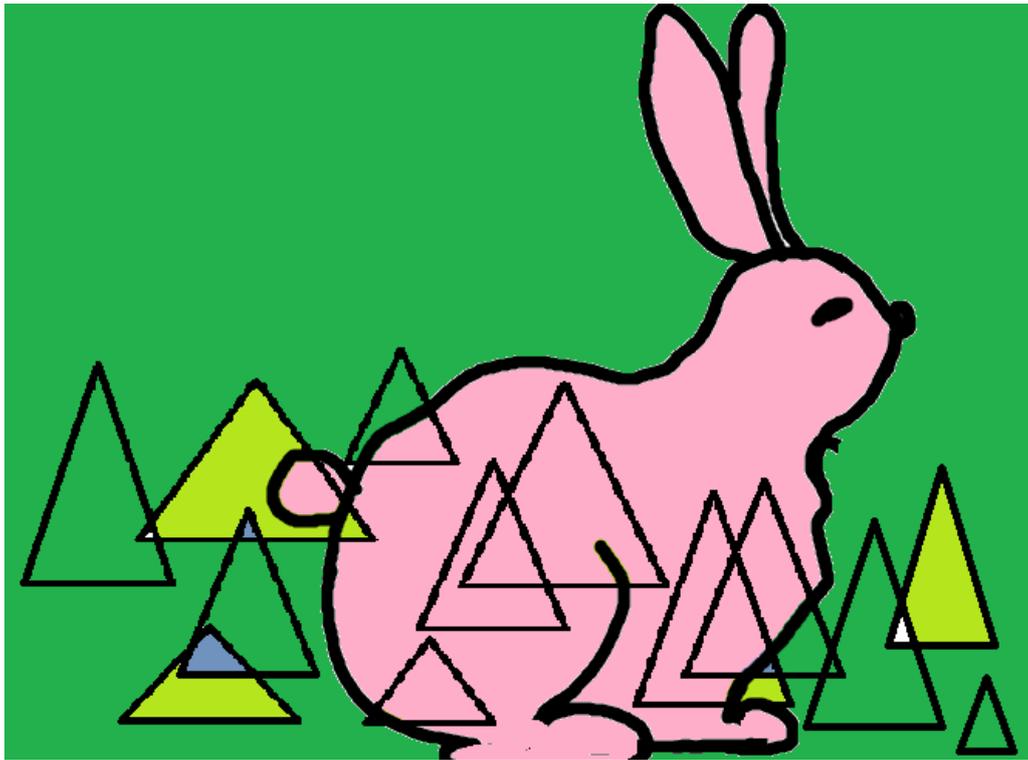
ずぶぬれの
微笑み返し
いたしますか？
別れたはずの
貴方の手紙

o0369031113984949336.jpg



犬コロと朝の散歩をしてみれば ここ掘れワンと大判小判
大きな屋敷をおったてて 犬コロ座布団 真綿で作る
あまり余ったこの大金 土を掘り掘り埋めました

o0636042413951253985.jpg



饒舌な父が黙した8・15
七十年の歳月とまる

2 \ (2 \).png



母はまだ 軽々跨ぐ水溜り
大きな馬力小さな背中

1 2 3 .jpg



昔々のその昔 小高い山のでっぺんに 小さなお城があり
ました お城の姫様わがままで 嫌われ姫でありました
10歳私は ノートに綴る 昔々のお話を
50年 たった今でも ノートに綴る 同じ内容 同じイ
ラスト 成長ゼロでありました

15.JPG



大阪のおばちゃん枠に括られた
気弱でだんまり いてまっせー

o0646047613952389461.jpg



まな板で刻む 憎悪と大根と
あなたの襟に真っ赤なルージュ

18485613 \



嫌われてなんぼでござると言われても
八方美人が しゃしゃり出てくる

KM11M4BY1XDRDLIV6RFXGF3VO3A5ADFJ \



**愛された
記憶**

生きろと

背中押す

タイトルなし.jpg

ピーヒャラと ソの音外した 音がする

啓太はいつも 音外す 子供のころから 音外す

今日は祭りの 前の夜 公民館で 音合わせ

ヘナチョコ音を 聞きながら 私は心 決めました

学校終えた 次の春 私はここに 戻ります



ピーひゃら.png



ニャゴニャゴ子猫 ニャゴニャゴ子猫

子猫とこの子となりの子

青いお目目がじまんです

おすまし白猫 美人さん

ニャゴニャゴ子猫 ニャゴニャゴ子猫

子猫とこの子 向かえの子

しましまシッポが揺れている

食べるの大好き 茶トラ君



ニャゴニャゴ子猫 ニャゴニャゴ子猫

子猫とこの子 野原の子

忍者のような身のこなし

かあさん恋しや 黒い猫

1606218889818.png

小間物屋

次郎作 (じろさく) お江戸の小間物屋

くしにかんざし いらんかなー
大きな袋を背中に担ぎ
お屋敷 長屋を練り歩く 練り歩く
次郎作 お江戸の小間物屋
握りぼさみに 針と糸

笑い話も 袋に詰めて
砂利道坂道 練り歩く 練り歩く
次郎作 お江戸の小間物屋
裏の梅ちゃん婚礼だ
おめかししなよと 紅贈る
涙かくして 紅贈る 紅贈る

小さな商い 足が出る 足が出る



IMG \



オンボロアパート

オンボロボロのアパートに
夢が一杯詰まっていた
一号室のお姉さん
小さな窓には赤い花
五線譜抱えて口ずさむ

オンボロボロのアパートに
幸せ一杯詰まっていた
二号室の学生さん
届いた荷物は良い香り
赤いリンゴと草まんじゅう

オンボロボロのアパートに
笑顔が一杯詰まっていた
三号室の大家さん
美味しいケーキが焼けました
一号室におすそ分け

1606221861082.png

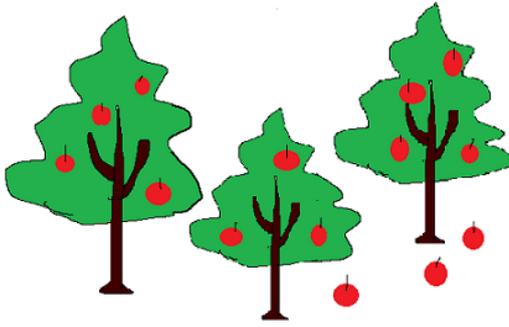


輪廻転生 私はセミになりました

十三年もの土の中
暗闇で私りっぱな哲学者
孔子に負けぬ深き思考を
ある夏日 地上に出ると神様が
太陽ギラギラ まばゆい光
生きている私確かに生きている

神様が命をつなげと言われます
子孫を残す旅の始まり
ただ一度一度っきりの契りでも
恋しいお方を探してやまぬ
ひと山ふた山み山を越えて
出会った貴方は私の貴方
君じゃない あんたじゃないと時は経ち
七日七晩 泣きとおしても
見上げれば大きな大きなクスノキが
ここでゆっくり休みなさいと
クスノキの下で私はまどろんだ
カラカラ朽ちる私の体

pixivSketch.png



ああそうだ昔々のその昔

人間だったあのころ想う

ペン先が妥協と言う文字 嫌ってた

書いては直す四角いマス目

独りぼち 金も男もいらないと

体の中を風が吹き抜く

ああ私 何も残さず朽ち果てる

神様ごめんと頭を下げる

神様が優しく声をかけられた

なんのなんのと耳元で

あなたは立派に命を継いだ

カラカラ骸クスノキ糧に

いらぬものはこの世にはないと

みんな大事な私の子供

そうなんだ私独りじゃないんだと

胸に刻んで まどろむ私

輪廻転生 私は貝になりました

深くて暗い海の奥底

4.png



恋をした乙女はみーんな哲学者

10年後

横を向く二人で見たい夢なのに

10年後

正論を語る 欠伸が出て仕方ない

10年後

大丈夫？夫の寝息を確かめる

無題 \ (2 \).png



午前零時のファッションショー

鏡の前でくるくると
赤いスカート回ります

母さんちくちく縫いました
私の好きな赤い色

午前零時のファッションショー

鏡の前でひらひらと
青い空色ワンピース

母さんちくちく縫いました
私の好きな青い色

午前零時のファッションショー

真夜中の.png



湯船は
48度と少し

沈めねば
女の炎
語りだす

80.jpg

5 7 劇場

ちっちゃなちっちゃな物語

著 者	野村由紀
発行日	2020年12月
出版社	STUDIO YUKI

3 4 .jpg

五七劇場 ちっちゃなちっちゃな物語

著 野村由紀

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
